

本工事の架設工法【送出し工法】



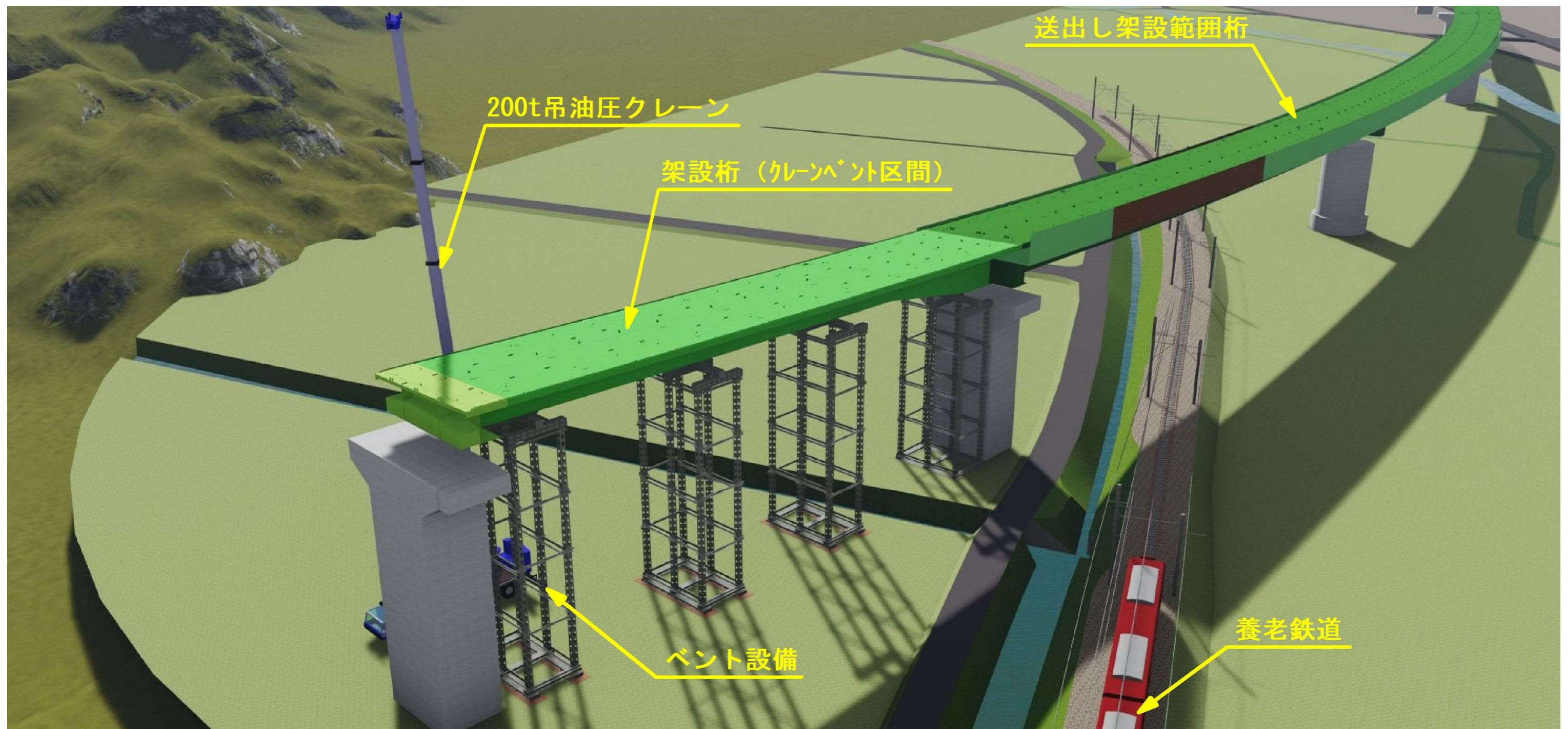
送出し工法とは、河川、道路、鉄道等を跨ぐ箇所において、桁下にトラッククレーンが設置できず、架設現場に隣接して主桁と手延機を組み立てる場所
が確保できる場合に用いる工法です。

バックヤード（架設現場に隣接した場所）に、構台を組み立てて、その上に主桁、連結構、手延べ機をトラッククレーンにて架設します。

各橋脚やベント上に設置した送出し設備で、構台上に地組立を行った橋桁を所定の位置まで送り出します。

送出し完了後、手延機を解体し送出し設備にて嵩上げされた橋桁本体を所定の高さまで降下させ、架設完了となります。

本工事の架設工法【クレーンベント工法】

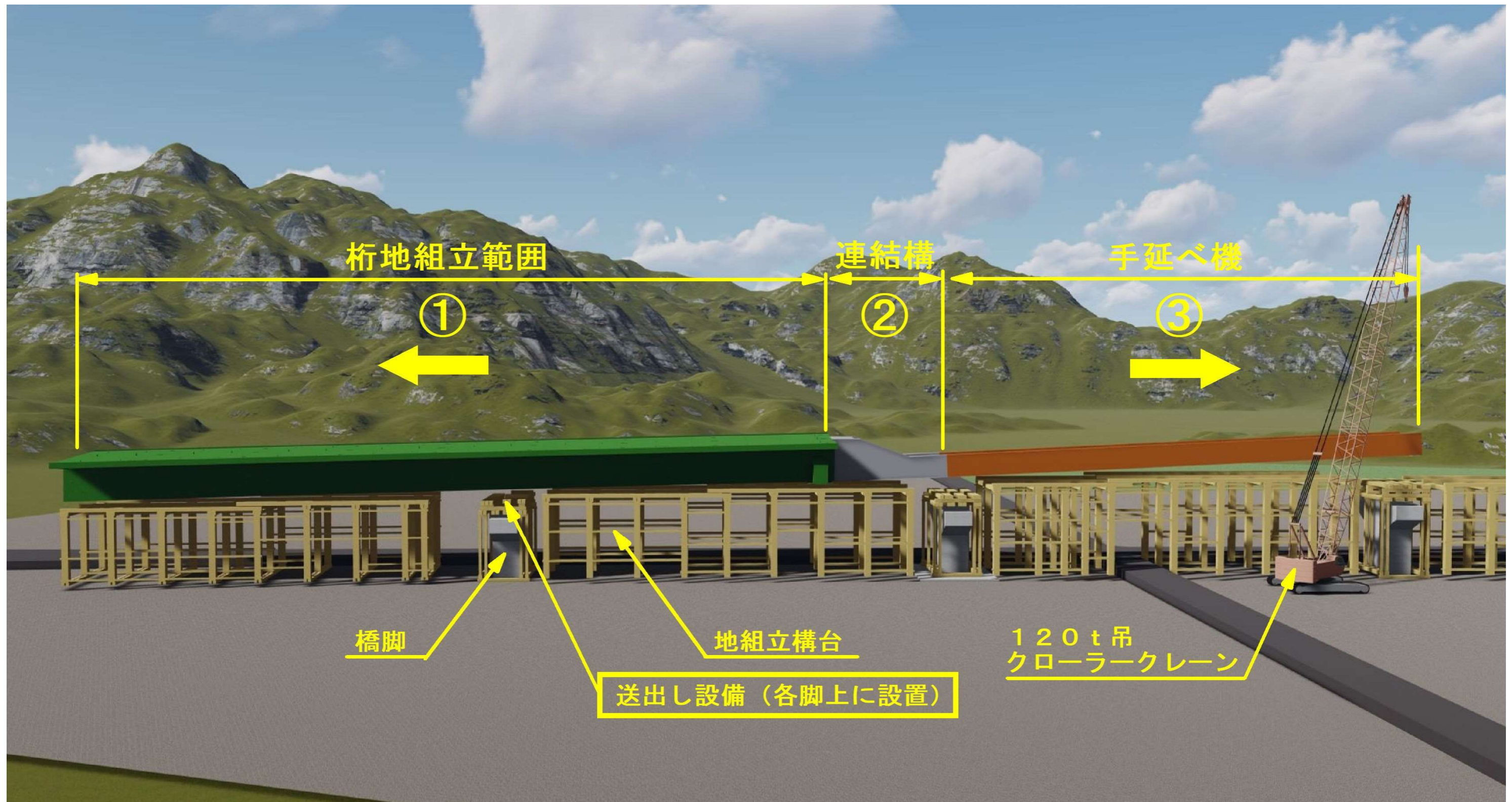


橋梁の架設において、最も一般的な架設工法です。他の工法に比べて少ない仮設備で施工可能なため、橋桁架設にかかる工期は他の工法に比べて短期間ですみます。

施工方法は、橋桁をベント設備（仮受け台）で支持しながら、順次、移動式クレーン（トラッククレーンまたはラフタークレーン）によって架設します。

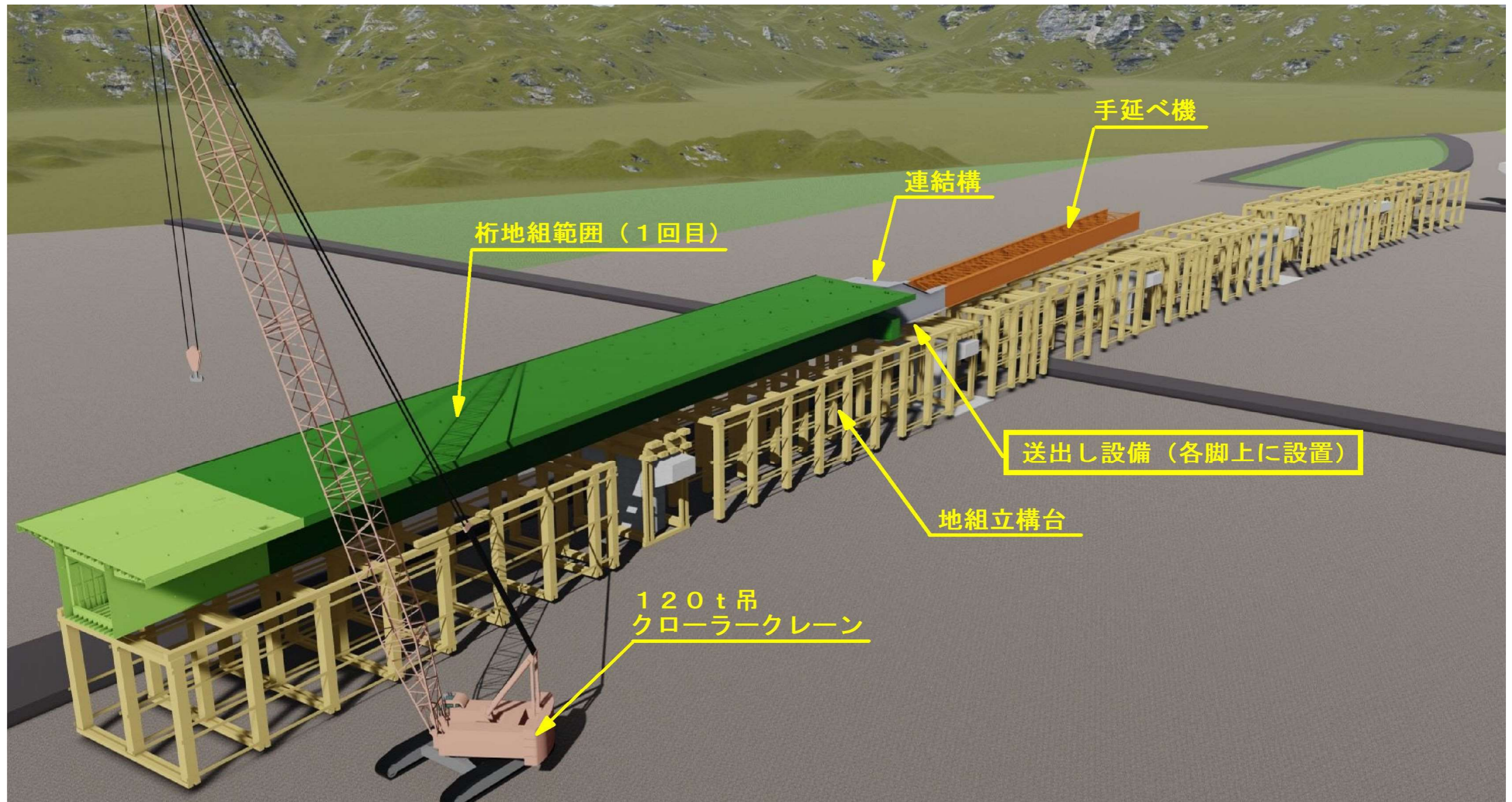
本工事では、送出し工法範囲以外の両側側径間で本工法を採用しています。

送出し架設ステップ図（その1）



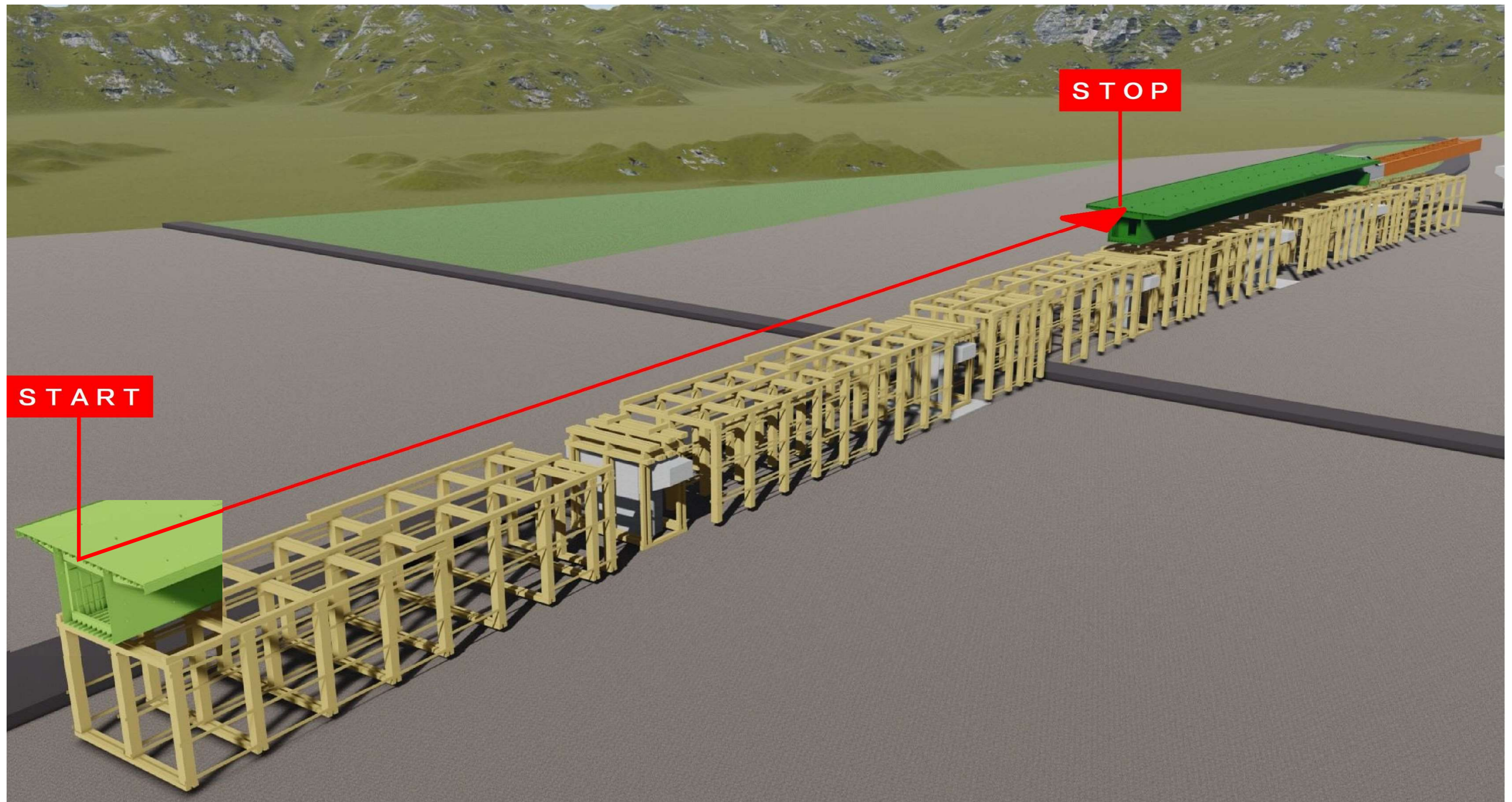
橋桁及び送出し用各仮設備組立

送出し架設ステップ図（その2）



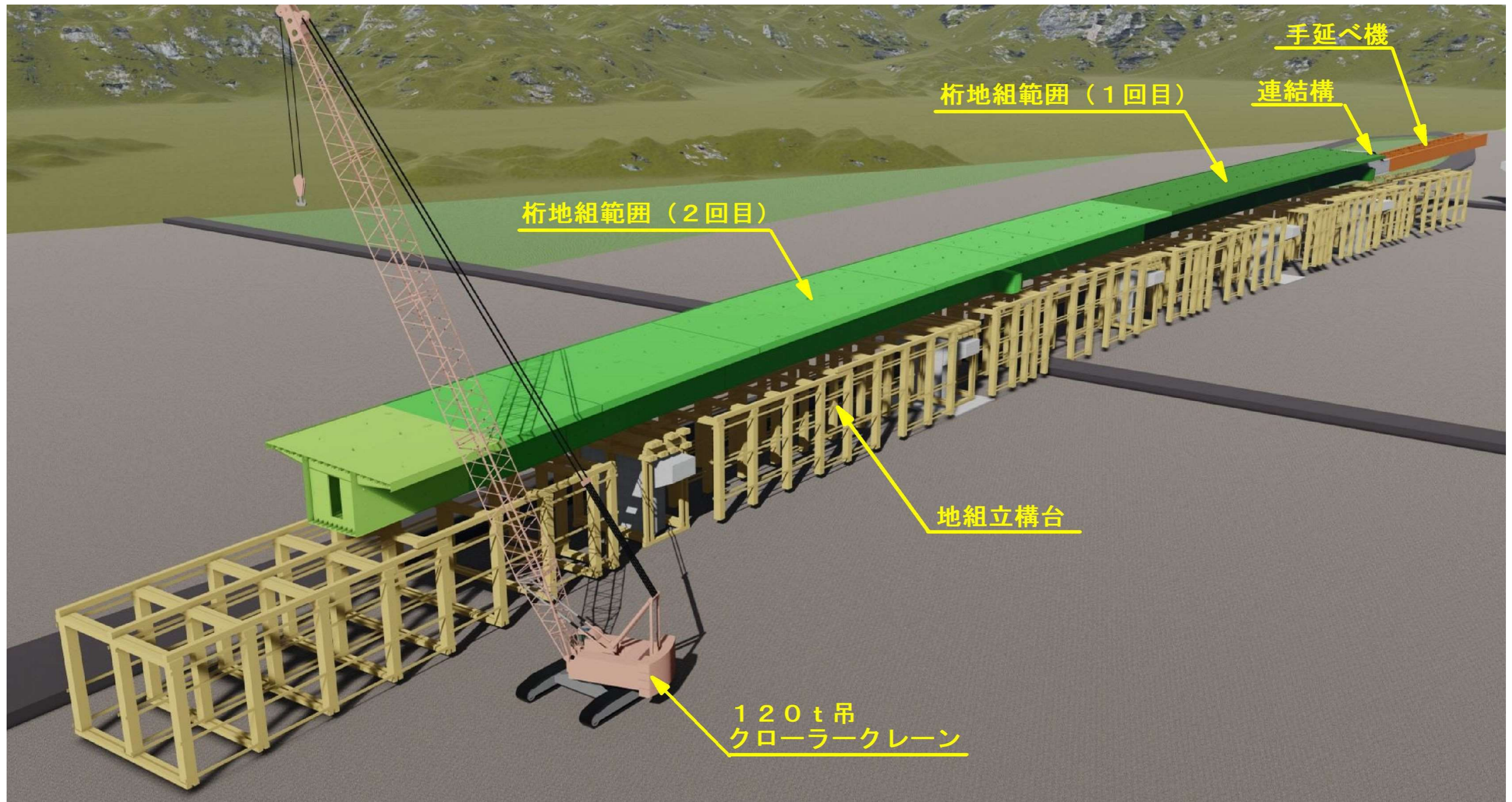
橋桁送出し作業前

送出し架設ステップ図（その3）



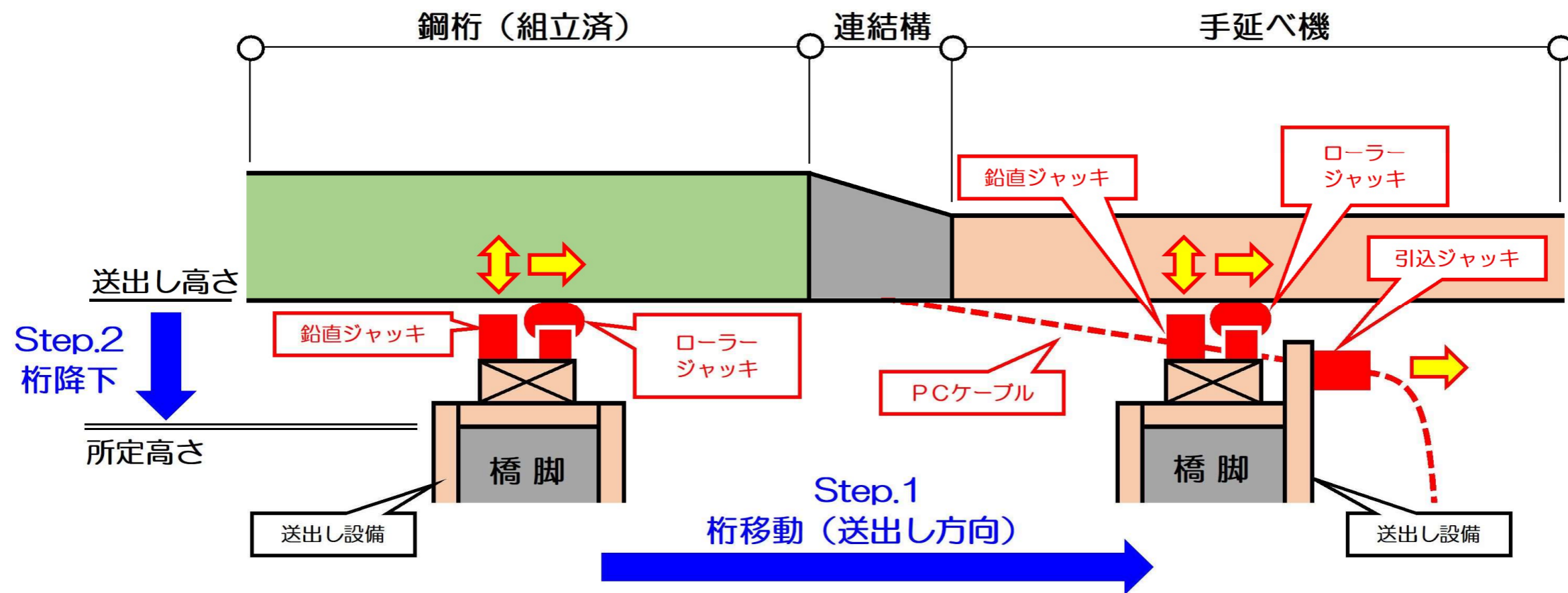
橋桁送出し作業

送出し架設ステップ図（その4）



橋桁組立作業（2回目）

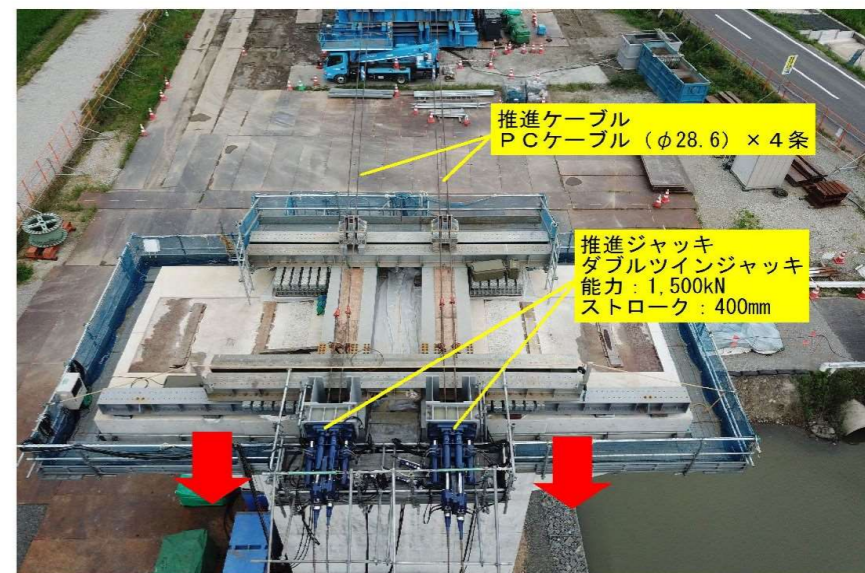
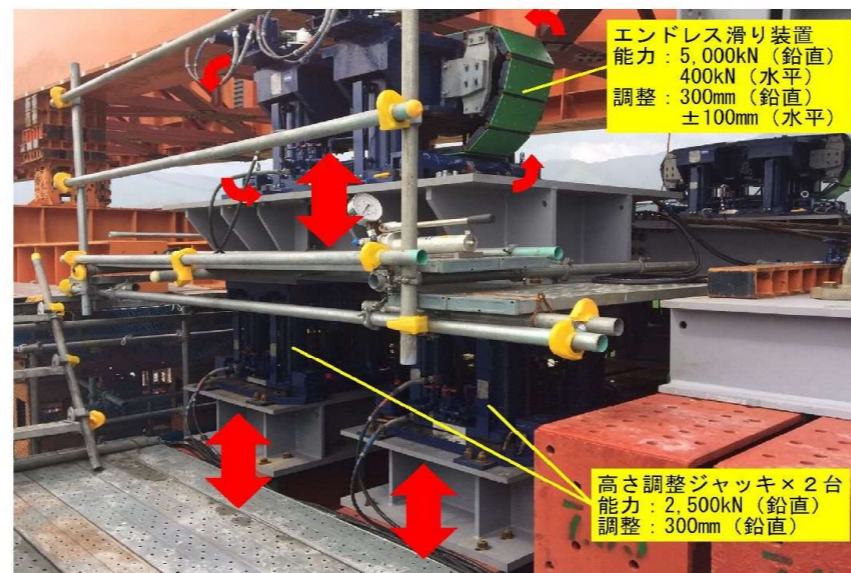
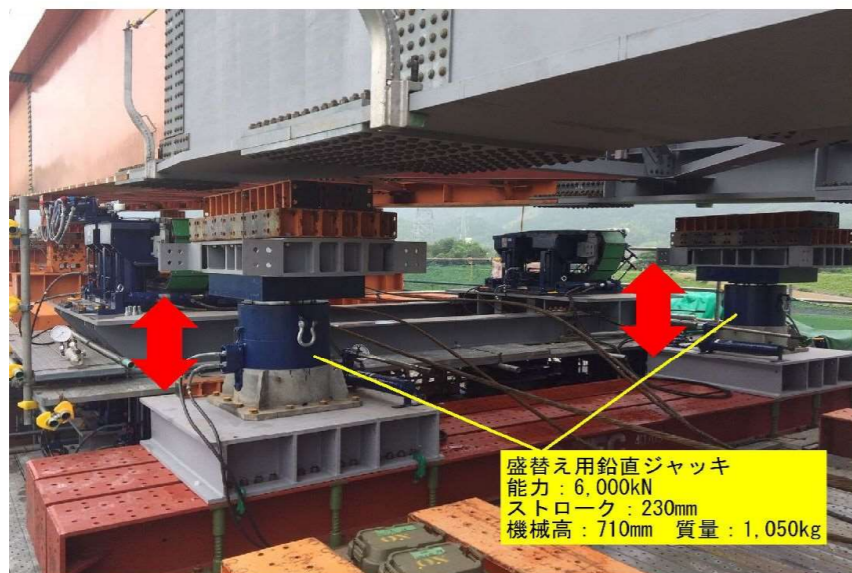
送出し架設ステップ図（その5）



【鉛直ジャッキ】
（ローラージャッキ受替え時、桁降下時に使用）

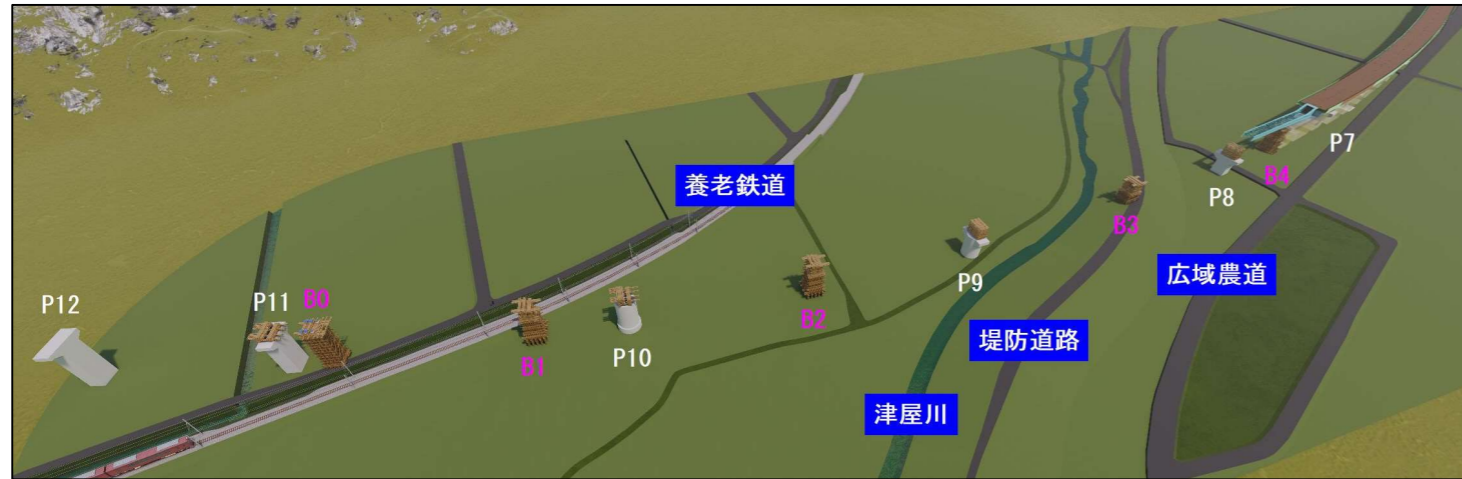
【ローラージャッキ】
（桁反力支持、桁位置・高さ調整）

【引込ジャッキ】
（送出し時の推進力）

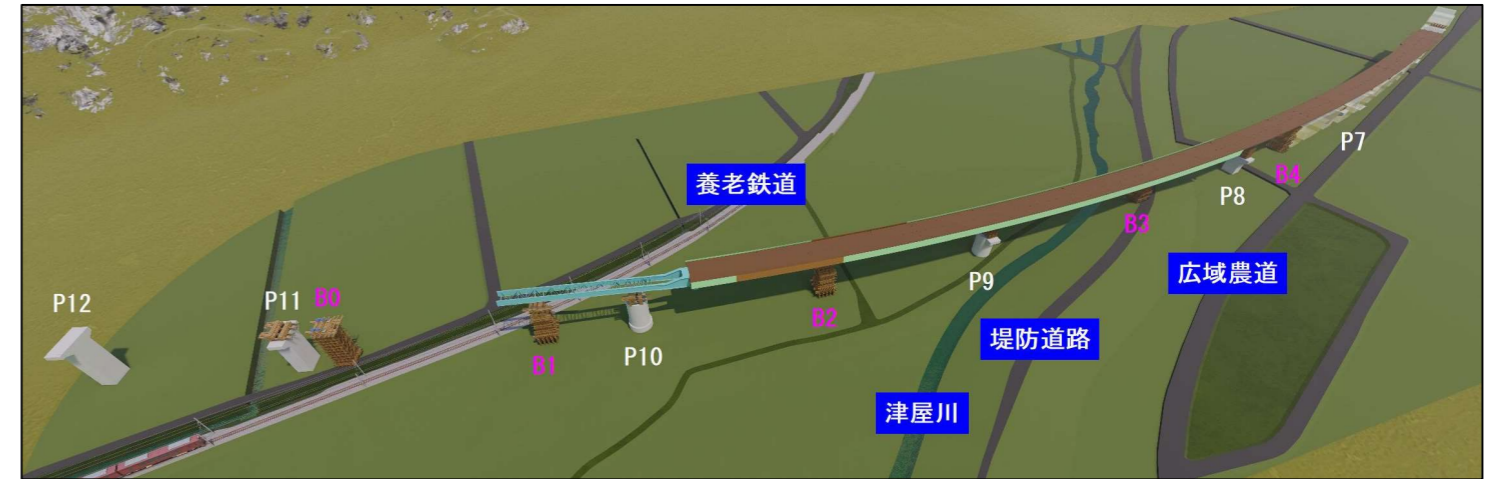


送出し設備及び施工要領

送出し架設ステップ図（その6）



ステップ1：送出し長137.9m（累計137.9m） R3/7月下旬



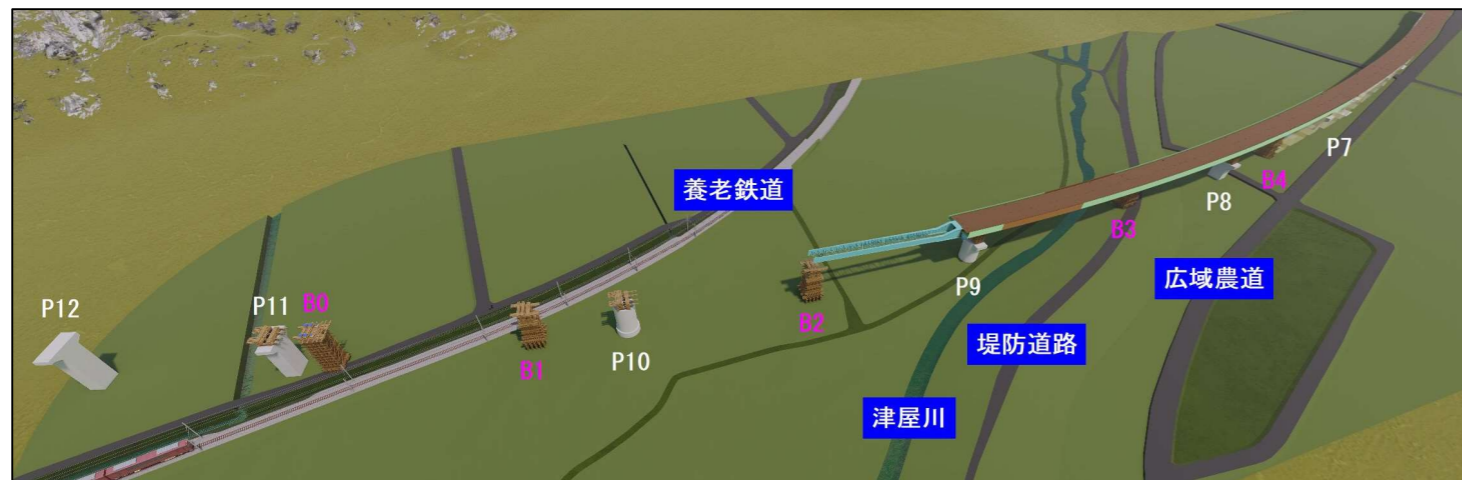
ステップ4：送出し長133.8m（累計512.0m） R4/3月中旬



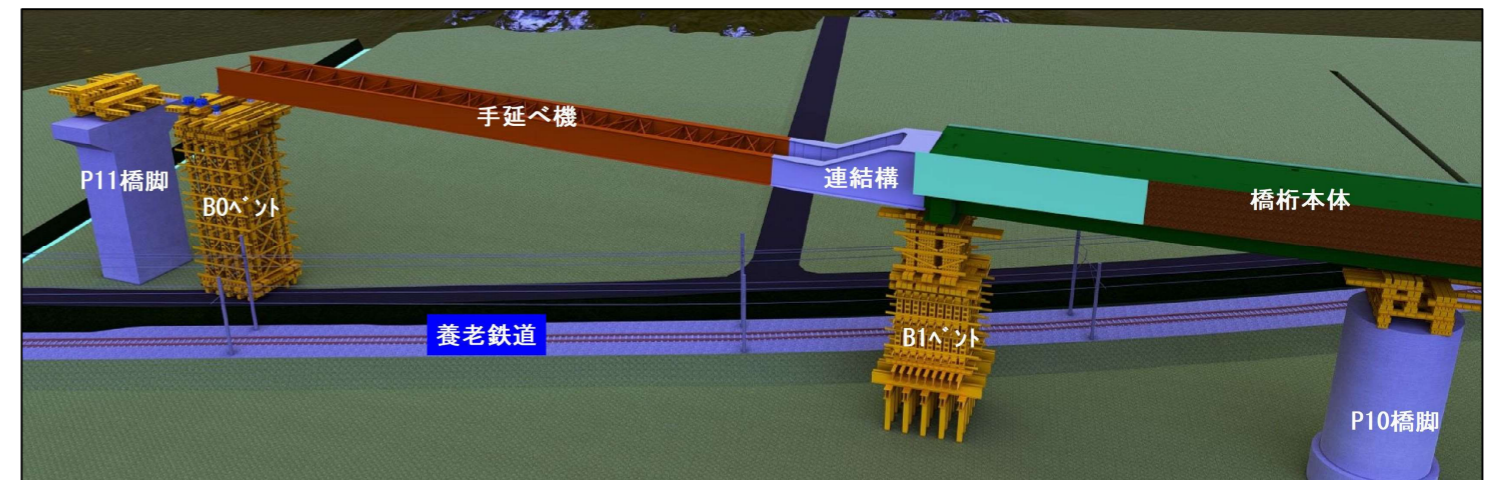
ステップ2：送出し長122.9m（累計260.8m） R3/10月下旬



ステップ5：送出し長145.8m（累計657.8m） R4/3月下旬～



ステップ3：送出し長117.4m（累計378.2m） R4/1月上旬



※ステップ5の送出し作業は、夜間き電停止時間中に施工する